

# 「Nikkei Asian Review」利用規約

## 目次

第1条	定義	2
第2条	適用	2
第3条	会員の種類とサービスの範囲	3
第4条	会員登録	3
第5条	登録情報とその変更	4
第6条	個人情報の取り扱い	4
第7条	IDとパスワードの管理	5
第8条	購読期間、購読料金	5
第9条	支払方法	6
第10条	クレジットカード決済業務の委託	6
第11条	知的財産権	6
第12条	禁止事項	6
第13条	プリント版の配達	7
第14条	メールサービス	7
第15条	お問い合わせ	7
第16条	購読停止	8
第17条	解約	8
第18条	サービスの変更	8
第19条	サービスの中断	8
第20条	サービスの終了等	9
第21条	規約の変更	9
第22条	利用者への通知	9
第23条	免責および責任の制限	9
第24条	準拠法および管轄裁判所	10

「Nikkei Asian Review」利用規約（以下「本規約」）は、「Nikkei Asian Review」（以下「本サービス」）の提供条件および株式会社日本経済新聞社（以下「日経」）と本サービスを利用する皆様（以下「利用者」）との間の権利義務関係を定めます。本サービスの利用に際しては、本規約をお読みいただいたうえで、本規約に同意いただく必要があります。

## **第1条 定義**

本規約における用語の定義は以下のとおりとします。

1. 「日経」とは、株式会社日本経済新聞社をいいます。
2. 「本サービス」とは、日経がウェブサイト、アプリおよび紙媒体にて提供する英語による情報サービス「Nikkei Asian Review」をいいます。
3. 「ウェブサイト版」とは、ウェブサイトにて提供する本サービスをいい、「アプリ版」とはアプリにて提供する本サービスをいい、「プリント版」とは紙媒体にて提供する本サービスをいいます。
4. 「利用者」とは、本サービスを利用するすべての個人または法人をいいます。
5. 「会員」とは、本サービスの会員登録をした利用者をいい、「非会員」とは会員登録をしていない利用者をいいます。「非会員」は、本サービスの一部しか利用することができません。
6. 個人の会員は、購読する本サービスの種類に応じて、「デジタル会員」、「デジタル+プリント会員」および「アプリ会員」にわかれます。それぞれの会員が購読できるサービス内容については、本規約に定めるとおりです。
7. 「ID」とは、会員が本サービスを利用するために必要となるアカウント ID をいいます。
8. 「申込者」とは、本サービスの会員登録を申し込もうとする者をいいます。
9. 「購読」とは、会員登録をした会員が、購読期間中、購読料金を支払って本サービスの全部または一部を利用することをいいます。
10. 「購読契約」とは、日経と会員との間に締結される本サービスの購読契約をいいます。
11. 「購読期間」とは、購読契約の有効期間をいいます。
12. 「購読料金」とは、会員が日経に対し本サービスを購読する対価として支払う料金をいいます。

## **第2条 適用**

1. 「本規約」は、本サービスの利用条件および本サービスの利用に関する日経と利用者および申込者との間の権利義務関係を定めることを目的とし、利用者と日経との間の本サービスの利用にかかわる一切の關係に適用されます。
2. 日経は、本規約とは別に、本サービス上（ヘルプを含みます）において本サービスに関する利用条件を、法人による購読にあたっては日経が指定する販売会社（以下「販売会社」）が提示する見積書等において本サービスの料金など本サービスの購読に関する重要な条件を、それぞれ定めます。これらの条件は、本規約の一部を構成するものとし、申込者は本サービス申込み時にこれらの条件を承諾したものとみなします。
3. 本規約の一部が法令の変更または裁判所の判断等によって違法または無効とされた場合でも、

本規約のその他の部分は有効に存続するものとします。

4. 本規約は英語で書かれたものであり、本規約の英語版と翻訳版（日本語を含む）に相違がある場合には、英語版の内容が優先されるものとします。

### **第3条 会員の種類とサービスの範囲**

1. 利用者は購読契約の内容によって以下の会員種別にわかれます。

デジタル会員 (有料)	契約期間中、ウェブサイト版およびアプリ版のすべての機能が利用できます。 購読プランは1カ月、3カ月、6カ月の3通りがあります。
デジタル+プリント会員 (有料)	契約期間中、ウェブサイト版およびアプリ版のすべての機能が利用できることに加え、週刊のプリント版が送付されます。 購読プランは1カ月、3カ月、6カ月の3通りがあります。
アプリ会員 (有料)	契約期間中、iOS 端末またはアンドロイド端末（会員が契約した端末）向けのアプリ版の機能が利用できます 購読契約は各ストアを通じて締結します。
法人会員 (有料)	契約期間中、ウェブサイト版およびアプリ版のすべての機能が利用できます。 購読プランは6カ月、12カ月の2通りがあります。 購読契約は販売会社を通じて締結します。
非会員 (無料)	ウェブサイト版およびアプリ版の一部の機能が利用できます

2. 前項に定めるほか、本サービスの個人会員向け購読料金など購読契約の内容は、本サービス上に掲示します。申込者または会員は本規約に基づき本サービスの申込み、購読および対価の支払いを行うものとします。
3. 本サービスを法人で購読する場合、日経が指定する販売会社を通じて購読契約を締結していただきます。本サービスの法人会員向け購読料金等など購読契約の内容は、当該契約の定めにしたがうものとし、当該購読契約と本規約の定めが異なる場合、当該購読契約が優先して適用されます。
4. アプリ版の購入に関しては各ストアが定める規約が適用されます。
5. 申込者および利用者は、自らの居住する国または地域の法律を遵守のうえ、本サービスを利用するものとします。

### **第4条 会員登録**

1. 本サービスの購読料金のお支払いはクレジットカード決済によるため、申込者は、日経が指定する「利用できるクレジットカード」に記載のいずれかのクレジットカードをお持ちの方に限ります。法人会員による購読料金のお支払方法は、別途購読契約の定めによります。
2. 申込者は、本サービスの購読を申し込むにあたって、日経に対し、申込みおよび本サービス

を購読するために必要な権利能力および行為能力を備えていることを保証するものとします。

3. 申込者は、日経指定の手続きをもって本サービスの購読を申し込むものとし、日経がこれを承諾した時に、購読契約が成立するものとします。
4. 日経は、申込者または会員が次の各号に該当または該当する恐れがあると判断した場合、無条件に申し込みの拒絶または購読契約の解除を行うことができるものとします。かかる場合の判断の理由については申込者または会員に通知しません。
  - (1) 不備または誤った情報で本サービスの申し込みを行った場合。
  - (2) 故意に虚偽または不正な情報を用いて本サービスの申し込みを行った場合。
  - (3) 法的に正常な意思能力がない場合。
  - (4) 本サービスの購読料金に見合う支払能力がない場合。
  - (5) 過去に日経に対しての未払いがあるか、またはその恐れがあると日経が判断する場合。
  - (6) 過去に本規約に違反したことがあるか、または過去に会員としての地位の全部または一部を取り消されたことがある場合。
  - (7) 本サービスと同様の事業内容を業とする場合、またはそのような第三者への本サービスの情報提供を目的としている場合。
  - (8) その行為が公序良俗に反するなど、本サービスの正常な運営の妨げとなるか、またはその恐れがあると日経が判断する場合。
  - (9) 登録内容の情報では日経から申込者または会員への連絡が取れないか、著しく困難な場合。
  - (10) その他、本規約の趣旨に照らして、日経が不相当と判断する場合。
5. 申込者または会員は、成立した購読契約の全部または一部を解除することはできません。

## **第5条 登録情報とその変更**

1. 会員は、本サービスに登録するメールアドレスとして、本サービスからのメールの受信を許可する自己のメールアドレスを登録するものとします。
2. 会員は、本サービスに登録するクレジットカードが有効なクレジットカードであり、購読料金を支払うために有効なカードであることを保証するものとします。
3. 会員は、メールアドレス、配達先情報、クレジットカード情報などの登録情報に変更が生じた場合には、速やかに日経に所定の方法で変更の届出をするものとします。ただし、手続の関係上、変更の手続きをされてから、当該変更が有効になるまで日数を要することがあります。
4. 会員が、前項の届出をするまでの間または前項の届出を怠ったことにより、不利益を被ったとしても、日経は一切その責任を負いません。
5. 日経は、変更内容を審査した結果、本サービスの購読を停止することがあります。

## **第6条 個人情報の取り扱い**

1. 日経は、本サービスの申し込みおよび本サービス上において登録された申込者および利用者の登録情報その他日経が取得した利用者個人に関する情報（以下「個人情報」）について、「プ

ライバシーポリシー」にしたがって細心の注意をもって管理し、本サービスの円滑な提供のために利用します。

2. 申込者および利用者は、日経が個人情報をその本人が特定できないかたちで統計的に処理し、公開する可能性があることを、あらかじめ了承します。
3. 利用者が、本サービスを利用する際に、本サービス上に自らの個人情報を開示した場合、それにより当該利用者が蒙る不利益や損害に関して、日経はその責任を負いません。
4. 日経は、購読契約が解約された場合も、会員への購読料金の請求履歴など、法令上保管の必要のある情報を当該法令にしたがい保管し、必要がなくなり次第消去します。

## **第7条 IDとパスワードの管理**

1. 申込者および会員は、自らの責任において本サービスに関する自らのIDとパスワードを管理、使用するものとします。日経は、IDとパスワードによって会員を認証し、本サービスの購読を許可します。日経は、当該IDとパスワードによる本サービスの会員は、会員本人であることとみなします。会員として認証され、現に購読された本サービスについては、当該会員はかかる購読による債務の一切を負担するものとします。
2. 会員は、自らのIDとパスワードを入力して本サービスを購読可能な状態での機器を第三者に利用させたり、貸与、譲渡、転売、質入、名義変更等を行ったりすることはできません。第三者に利用された結果については、会員自らがその責任を負うものとします。
3. 会員は、自らのIDとパスワードが不法に盗まれ、または第三者に使用された事実を知った場合には、ただちにその旨を日経に連絡するとともに、日経の指示がある場合にはこれにしたがうことに同意します。その場合に会員が被るいかなる損失や不利益について、日経はその責任を負いません。
4. 会員は、自らのパスワードを忘れた場合、本サービス上の所定の画面から確認または再発行することができます。

## **第8条 購読期間、購読料金**

1. 購読期間は月単位とし、日本時間を基準とします。
2. 本サービスは会員登録完了後、ただちに購読開始となり、翌日を購読契約の有効期間起算日とします。
3. 本サービスの料金プランは、本サービス上に掲示する料金表に定めます。
4. 購読料金の支払通貨はUSドルのみです。ただし、法人会員は購読契約に定められた支払通貨となります。
5. 購読期間終了日（日本時間、本サービス上で確認できます）までに購読プランを変更または購読契約を解約しない限り、購読契約は同じ購読プランで自動更新されます。購読期間中は購読プランの変更および購読契約の解約ができませんが、それらの予約は購読期間中随時行うことができます。料金プランの変更の予約があった場合、変更後の料金プランは購読契約更新時に適用されます。また、購読契約の解約の予約があった場合、購読契約は購読期間終了日をもって終了します。

6. ご購読の有無にかかわらず、日経指定の方法で購読契約を解約しない限り、購読料金は課金されます。
7. 購読契約に別段の定めがある場合を除き、日経は既に支払われた購読料金の払い戻し義務を一切負いません。
8. 日経は、購読料金を改定する場合、事前に本サービス上での告知またはメール等で通知をしたうえで、当該改定が有効となる日から、改定された料金で決済します。購読料金改定日に既に購読期間中である会員に対しては、次の購読期間更新時から改定後の料金が適用されます。

## **第9条 支払方法**

1. 個人の会員による購読料金の支払いは、クレジットカードを利用した決済により行います。領収証の発行はできません。
2. 会員が日経に対して支払いを遅滞した場合、日経はその債権を第三者に自由に譲渡できるものとします。

## **第10条 クレジットカード決済業務の委託**

1. 日経は、本サービスに関するクレジットカードによる決済業務を株式会社スマートリンクネットワーク（以下「スマートリンク」）に委託します。日経は、会員のクレジットカード情報（クレジットカード番号、有効期限、セキュリティコード等）をスマートリンクに開示・提供します。
2. 会員は、スマートリンクが購読料金の決済を代行することおよびかかる決済のために必要な情報を日経がスマートリンクに開示・提供することを了承するものとします。
3. 会員のクレジットカード番号、有効期限はスマートリンクにおいて保持されます。日経は、会員のクレジットカード情報を消去し、保持しません。

## **第11条 知的財産権**

1. 本サービスに関するソフトウェア（ウェブサイト版、アプリ版を含みます）、本サービスおよび本サービス上のコンテンツ、商標、ロゴマーク、マニュアル等の一切の著作権その他の知的財産権は、日経、その他原権利者が所有するものです。

## **第12条 禁止事項**

1. 利用者は、日経の書面による事前の承諾なしに、本規約上の地位、本規約に基づく権利もしくは義務の全部もしくは一部を第三者に譲渡し、引き受けさせ、または担保に供してはならないものとします。
2. 利用者は、本サービスの利用に関して、以下の行為を行わないものとします。
  - (1) 日経もしくは他者の権利を侵害する行為または侵害するおそれのある行為
  - (2) 他者を差別、誹謗中傷する行為または他者の名誉もしくは信用を毀損する行為
  - (3) 第三者になりすまして本サービスを購読する行為

- (4) 詐欺等の犯罪に結びつく行為または犯罪行為に関連する行為
  - (5) わいせつ画像など他者に不快感を与えるコンテンツを送信または表示する行為
  - (6) 他者の設備または本サービス用設備（日経が本サービスを提供するために用意する通信設備、通信回線、電子計算機、その他の機器およびソフトウェアをいい、以下、本規約において同様です）の利用もしくは運営に支障を与える行為
  - (7) 本人の同意を得ることなく、または詐欺的な手段により他者の個人情報を収集する行為
  - (8) 法令、本規約もしくは公序良俗に違反する行為、本サービスの運営を妨害する行為、日経の信用を毀損し、もしくは日経の財産を侵害する行為または他者もしくは日経に不利益を与える行為
  - (9) 本人の同意を得ることなく、他者の個人情報を開示する行為
  - (10) 日本サービスの不具合や障害を不正な目的で利用し、またはそれを他者へ伝達する行為
  - (11) その他日経が不相当と判断する行為
3. 利用者は、本サービスならびに本サービスのコンテンツおよびその内容について、その全部または一部を問わず、商業目的で利用（使用、複製、複写、蓄積、再生、販売、再販売その他形態のいかんを問いません）すること、および、著作権ポリシーで許可された方法以外の方法で利用することはできません。

### **第 13 条 プリント版の配達**

1. 日経は、デジタル+プリント会員が登録情報にて指定した配達先住所宛に、原則として週 1 回、プリント版を郵送により発送します。
2. 配達にかかる日数は、各国・地域の郵便事情・政治情勢等にしがたがあります。当該事情等による配達の遅延・不能に関して日経は責任を負いません。
3. 一部の国・地域にはプリント版を配達することができない場合があります。
4. 会員の事由によりプリント版の配達を一時的に停止することはできません。

### **第 14 条 メールサービス**

1. 会員は、本サービスに登録しているメールアドレスに対して、日経が電子メールの送信を行うことを了承するものとします。当該電子メールは、本サービス上の「Your account」の画面から受信を停止することができます。
2. 会員が受信した電子メールを削除、紛失した場合も、日経は当該電子メールの再送信は行いません。

### **第 15 条 お問い合わせ**

1. 本サービスに関するお問い合わせは、「contact us」のページより受け付けます。日経からの回答に対して再度問い合わせを受ける場合も、同様に「contact us」のページから受け付けます。
2. 利用者は、本サービスに対して利用者が寄せた問い合わせ・ご意見等の内容を、日経が、個人が特定できないかたちで編集・利用する場合があることを了承するものとします。

## **第 16 条 購読停止**

1. 日経は、会員が次の各号のいずれかに該当すると判断した場合、会員への事前の通知もしくは催告を要することなく本サービスの購読を停止（購読契約を解除）できるものとします。
  - (1) 本規約に違反した場合
  - (2) クレジットカード会社、金融機関等により、会員の指定したクレジットカードの利用が停止させられた場合、または理由のいかんを問わず会員の指定したクレジットカードの利用が不能となった場合
2. 購読契約が解除された場合、会員は期限の利益を喪失し、当該時点で発生している日経に対して負担する債務（購読料金の未払いを含みます）の一切を一括して履行するものとします。
3. 会員が第 12 条（禁止事項）に違反し、または本条第 1 項各号のいずれかに該当することにより、日経が損害を被った場合、日経は購読契約の解除の有無にかかわらず、当該会員に対して、被った損害の賠償を請求できるものとします。
4. 日経が本条に基づき購読契約を解除したことにより会員に損害が発生したとしても、日経は一切責任を負いません。

## **第 17 条 解約**

1. 会員は、購読契約を解約する場合、本サービス上に掲示する日経指定の方法で解約手続を取るものとします。
2. 購読期間中の中途解約はできません。会員は、購読期間中、随時購読契約終了の予約をすることができ、この予約があった場合、購読契約は購読期間終了日をもって終了します。
3. 日経は会員の死亡を知り得た時点をもって、第 1 項に定める解約手続があったものとして取り扱います。

## **第 18 条 サービスの変更**

1. 日経は、利用者に事前の通知をすることなく、本サービスの内容を随時追加、改廃その他の方法で変更することができるものとします。当該変更には、設備の保守や、天災などの不可抗力に起因するものも含まれます。

## **第 19 条 サービスの中断**

1. 日経は、以下の場合には、利用者に事前に通知することなく、本サービスの全部または一部の提供を中断することができるものとします。
  - (1) 本サービスにかかる設備の保守または点検によりやむを得ない場合
  - (2) 本サービスにかかる設備にやむを得ない障害等が発生した場合
  - (3) 電気通信事業者による電気通信サービスの不具合により本サービスの提供が困難となった場合
  - (4) 天災などの不可抗力により、本サービスの提供ができなくなった場合
  - (5) その他、日経が本サービスの運営上、中断が必要と判断した場合



2. 前項に基づく本サービスの全部または一部の中断があった場合も、会員は、本サービスの購読が可能であった期間について、購読料金の支払義務を免れるものではありません。
3. 日経は、本サービスの中断による損害について、自らに故意または重大な過失がある場合を除いて一切責任を負いません。

## **第 20 条 サービスの終了等**

1. 日経は、第 22 条「利用者への通知」にしたがって事前に通知を行うことで、本サービスの全部を終了できるものとします。
2. 本サービスの提供が終了となる場合、日経は、会員が日経に対して支払い済みの購読料金のうち、購読期間の残り月数に応じて精算した購読料金を返金します。

## **第 21 条 規約の変更**

1. 日経は、自らが必要と判断した場合、利用者の承諾を得ることなく、随時本規約を改定することがあります。
2. 日経は、前項の改定を行う場合には、改定後の本規約の内容を、第 22 条「利用者への通知」に定める方法によって、利用者へ通知します。

## **第 22 条 利用者への通知**

1. 日経から利用者への通知は、本サービス上での掲示またはメールなど、日経が適当と判断した方法により行います。
2. 利用者が通知の確認を怠ったことにより発生した利用者の損害に関して日経は一切責任を負いません。

## **第 23 条 免責および責任の制限**

1. 本サービスに関する日経の利用者に対する責任は、利用者が支障なく本サービスを購読できるよう善良なる管理者の注意をもって本サービスを運営することに限ります。本サービスの中断または遅延が生じた場合であっても、その原因が日経の責に帰することができない不可抗力によるものである場合は、日経はユーザーに対して何の責任も負いません。
2. 本サービスは、日経が利用者に対して本サービスを提供する時点において日経にとって提供可能な内容のものとし、利用者は、日経が本サービスについて瑕疵のないものであることを保証するものではないことをあらかじめ了承するものとします。したがって、日経は、本サービスおよび利用者が本サービスを利用することにより得た情報などについて、その完全性、正確性、適用性、有用性などに関して、いかなる責任も負いません。
3. 日経は、以下の各号に定める利用者の損害について、いかなる責任も負わず、また、損害賠償義務も一切負いません。
  - (1) 利用者が本サービスの利用に関して操作を誤ったことにより生じた損害。
  - (2) 本サービスの遅延または障害により生じた損害
  - (3) 本サービスの利用を通じて利用者のソフトウェアがコンピュータウィルス等に感染した

ことによる損害

- (4) 本サービスの内容に瑕疵があったことにより生じた損害
  - (5) 本サービスの利用により、利用者のコンピュータまたはモバイル端末に生じた損害。
  - (6) 利用者が本規約に違反したことにより、本サービスの利用が停止されたり、またはその他の対応がとられたりしたことによって生じた損害
4. 日経は、本条の規定にもかかわらず、強行法規、裁判所の確定判決等により本規約に規定する日経の免責が認められない場合、および日経に故意または重大な過失がある場合、利用者の被った通常かつ直接の損害に限り賠償をする責任を負います。

## **第 24 条 準拠法および管轄裁判所**

本規約は日本法を準拠法とし、申込者、利用者および日経双方は、本規約に関し紛争が生じた場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意します。

以 上

(2013 年 11 月 21 日制定)